

目 次

保護継電装置保守点検方策	保護継電装置保守点検 専 門 委 員 会
委員会組織	(1)
概 要	(3)
1. 委員会の課題	(3)
2. 研究の成果	(3)
3. 報告書の概要	(3)
4. 今後の課題	(14)
第1章 保守点検の実態	(15)
1-1 定期点検の実態	(15)
1-1-1 定期点検周期	(15)
1-1-2 定期点検項目	(17)
1-1-3 保護リレー定期点検で実施する関連回路の点検範囲及び点検項目	(17)
1-1-4 点検装置	(17)
1-1-5 保護リレー定期点検時における電力設備の停止の考え方	(17)
1-2 自動監視装置の実態	(19)
1-2-1 自動監視装置の適用の考え方及び適用範囲	(19)
1-2-2 自動監視装置の設置状況及び監視範囲	(20)
1-2-3 自動点検装置の点検周期	(25)
1-2-4 自動監視装置による保護リレー不良発見時の処置	(25)
1-3 保護リレー特性誤差管理の実態	(25)
第2章 保護リレー装置の故障実態	(26)
2-1 故障発見動機	(27)
2-1-1 故障実態	(27)
2-1-2 全静止形、全電磁形別にみた故障	(29)
2-1-3 発見動機が系統事故であった故障	(32)
2-2 故障モード	(33)
2-3 故障原因	(34)
2-4 故障部位	(36)
2-4-1 主リレーの部位別故障	(37)
2-4-2 補助リレーシーケンスの部位別故障	(37)
2-4-3 その他部位の故障	(39)
2-5 初期故障の実態	(40)
2-6 同形不良	(43)
第3章 保護リレー装置の故障率	(46)
3-1 故障率	(46)
3-1-1 故障率の定義	(46)
3-1-2 故障程度による故障件数の重みづけ	(46)

3-1-3	故障部位区分とその規模数計算基準値	(46)
3-1-4	各部位の稼動時間	(50)
3-1-5	故障率計算対象の故障件数と発見動機別区分	(50)
3-2	故障率計算結果と検討	(50)
3-2-1	各部位ごとの故障率	(50)
3-2-2	保護リレー方式別故障率	(54)
3-2-3	初期故障率	(55)
第4章	保護リレー装置の故障発見率	(61)
4-1	故障発見率	(61)
4-2	発見動機別の故障発見率	(61)
4-2-1	発見動機別の故障発見率	(61)
4-2-2	保護リレー方式による発見率の変化	(61)
4-3	自動監視の故障発見率	(65)
4-3-1	前提条件の整理	(65)
4-3-2	常時監視による故障発見率	(65)
4-3-3	自動監視による故障発見率	(68)
4-4	信頼度計算に用いる故障発見率	(69)
第5章	保守点検と信頼度	(70)
5-1	保護リレー装置の信頼度評価	(70)
5-1-1	動作信頼度と稼動信頼度	(70)
5-1-2	稼動信頼度の評価	(71)
5-1-3	動作信頼度の評価	(72)
5-1-4	動作信頼度と稼動信頼度の関係	(73)
5-2	現行の保守点検と保護リレー装置の信頼度	(78)
5-2-1	信頼度計算対象保護リレー装置	(78)
5-2-2	現行の保守点検における信頼度計算結果	(78)
第6章	保守点検方法の適用指針	(80)
6-1	故障内容からみた保守点検	(80)
6-1-1	故障モードからみた保守点検	(80)
6-1-2	系統事故に伴って発見された故障内容に対する保守点検方法	(81)
6-1-3	初期故障内容からみた保守点検	(83)
6-2	故障発見率からみた保守点検	(83)
6-2-1	リレー方式別の故障発見率からみた保守点検	(84)
6-2-2	故障モード別の故障発見率からみた保守点検	(86)
6-2-3	故障部位別の故障発見率からみた保守点検	(86)
6-3	業務量・コスト・信頼度からみた保守点検	(88)
6-3-1	検討対象リレー方式と検討パターン	(88)
6-3-2	コスト・業務量の検討方法	(89)
6-3-3	計算結果	(91)
6-3-4	計算結果と考察	(91)
6-4	自動監視の効果	(114)
6-4-1	自動監視と稼動信頼度	(114)

6-4-2	自動監視と動作信頼度	(117)
6-4-3	自動監視と装置故障	(117)
6-5	保守点検からみた保護リレー装置のあり方	(119)
6-5-1	定期点検の容易性・安定性からみた保護リレー装置の改善策	(120)
6-5-2	自動監視装置の改善策	(121)
6-5-3	メーカーにおける保護リレー装置の信頼度向上策	(122)
付録1	保護リレーの保守点検ならびにトラブルの実態に関するアンケート の方法について	(126)
付録2	合理化・省力化を図っている点検装置について	(139)
付録3	メーカーオンコール時の情報伝達について	(147)
付録4	設備及び故障実態の分析プログラムについて	(148)
付録5	同形現象とその対策について	(151)
付録6	状態遷移図による稼動信頼度の計算について	(153)
付録7	メーカー側の品質管理について	(166)
付録8	信頼性関係規格について	(170)